

音声ガイド

本展の音声ガイドは 国民的な朝の顔、麒麟・川島明さんに決定！

京都府生まれ、NSC大阪校出身、と本展にゆかりの深い川島さんに「ええ声」で分かりやすく展覧会をご解説いただきます。

プロフィール

1997年NSC大阪校20期生。1999年、田村裕とともに、漫才コンビ・麒麟を結成。「M-1グランプリ2001」で第5位入賞を果たす。2002年、「ABCお笑い新人グランプリ」で優秀新人賞を獲得。2004年「上方お笑い大賞」で最優秀新人賞を受賞。TBSの情報バラエティ番組「ラヴィット！」にて、メインMCを務める。趣味はイラスト、ゲーム、マンガ。

貸出料金：1台650円(税込)



関連イベント

①6月15日(土) 14時～15時半

大阪市立美術館 内藤栄館長 特別講演会
「醍醐寺と神秘的密教美術」

②6月29日(土) 14時～15時半

大阪大学大学院 藤岡穰教授 特別講演会
「醍醐寺のみほとけ-密教と天皇の寺-」

③7月15日(月・祝) 14時～15時半

醍醐寺 × 慶應SFC supported by VIE
「デジタル曼荼羅
アート&ミュージック ライブ」
慶應義塾大学環境情報学部
藤井進也准教授&脇田玲教授(アーティスト)

④7月28日(日) 14時～15時半

醍醐寺 仲田順英執行 × 落合陽一氏
オブジェクト指向菩薩報告法要&
トークセッション

⑤7月24日(水)～8月22日(木) (予定)

オブジェクト指向菩薩展示
会場：大阪中之島美術館 2階多目的スペース

(①～④に共通)

会場：大阪中之島美術館 1階ホール
定員：150名(先着順、事前申し込み不要)
料金：聴講無料。ただし本展の観覧券(半券可)が必要。



デジタル曼荼羅 アート&ミュージック ライブ

落合陽一氏 photo: Jun Sugawara



オブジェクト指向菩薩
photo by Yoichi Ochiai

観覧料(料金は全て税込、未就学児無料)

券種	一般	高大生	小中生
前売・団体	1600円	900円	300円
当日	1800円	1100円	500円

*税込価格。*団体料金は20名以上。団体鑑賞をご希望される場合は事前に大阪中之島美術館公式ホームページから団体受付フォームにてお問い合わせください。*学校団体の場合はご来場の4週間前までに大阪中之島美術館公式ホームページ学校団体見学のご案内からお申込みください。*障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)は当日料金の半額(要証明)。ご来館当日、2階のチケットカウンターにてお申し出ください。(事前予約不要)*本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。*事前予約制ではありません。展示室内が混雑した場合は、入場を規制する場合があります。*災害などにより臨時休館する場合があります。

前売券

販売期間：4月15日(月)～6月14日(金)

期間限定!お得な2枚セット券 販売期間：4月15日(月)～5月31日(金)

お二人で一緒に鑑賞 or お一人でじっくり2周目を…。

価格：一般・2枚セット 3000円(税込)

[主なチケット販売場所] 大阪中之島美術館チケットサイト、展覧会ホームページ内 e-tixサイト、ローソンチケット(Lコード:51948)、チケットぴあ(Pコード:686-916)、セブンチケット(セブンコード:105-535)、楽天チケット、イープラス、CNプレイガイドほかで販売。(チケット購入時に手数料がかかる場合があります)



◀ 展覧会ホームページ
<https://nakka-art.jp/exhibition-post/daigoji-2024/>
展覧会X: @daigoji2024

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1
【お問い合わせ】大阪市総合コールセンター(なにわコール)06-4301-7285
【受付時間】8:00-21:00(年中無休)
<https://nakka-art.jp/>

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

【交通アクセス】

電車 ●京阪：中之島線 渡辺橋駅(2番出口)より南西へ徒歩約5分
●Osaka Metro：四つ橋線 肥後橋駅(4番出口)より西へ徒歩約10分 ●JR：大阪環状線 福島駅/東西線 新福島駅(2番出口)より南へ徒歩約10分 ●阪神：福島駅(3番出口)より南へ徒歩約10分
バス ●大阪シティバス：JR大阪駅より53号・75号系統で「田養橋」下車、南西へ徒歩約2分
*お帰りのJR大阪駅方面への便利なバス停は「渡辺橋」になります。
駐車場 有料駐車場あり(割引サービスはございません。)*詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

宝蔵展

Celebrating
the 1150th anniversary
of the Founding of

Daigoji Temple

and its National Treasures

- ◎会場：大阪中之島美術館 4階展示室
- ◎開場時間：午前10時～午後5時(入場は午後4時30分まで)
- ◎休館日：月曜日、7月23日(火)
ただし7月15日(月・祝)、8月12日(月・休)は開館
- ◎主催：大阪中之島美術館、総本山醍醐寺、日本経済新聞社、テレビ大阪
- ◎協賛：伊藤園、エア・ウォーター、大阪商工信用金庫、サラヤ、住友林業、ダイキン工業、大和証券グループ
- ◎協力：奈良国立博物館

醍醐寺開創
1150年

この夏、
大阪・中之島に
パワースポット
出現!

醍醐寺

開創1150年記念

醍醐寺

醍醐寺

重要文化財 如意輪観音坐像
平安時代(10世紀)
京都・醍醐寺蔵

前期 6月15日(土)～7月21日(日)

後期 7月24日(水)～8月25日(日)

2024. 6.15(土) - 8.25(日)

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

第1章 山の寺 醍醐寺



重要文化財 《帝釈天騎象像》
平安時代(10世紀)

国宝 《文殊灌海図》
鎌倉時代(13世紀)
※前期(6/15~7/21)のみ展示

重要文化財
《不動明王坐像 快慶作》
建仁3年(1203)



国宝14件、
重要文化財47件
一挙公開!!

7万点以上の国宝を所蔵する醍醐寺。開創1150年を記念して厳選した国宝14件、重要文化財47件を含む約90件の名宝を一挙公開いたします。



京都市伏見区に位置する醍醐寺は、平安時代前期の貞観16年(874)に理源大師聖宝によって創建されて以来、真言密教の拠点寺院として、歴代の皇族や公家、武家の信仰を集め歴史の表舞台において重要な役割を果たしてきました。

醍醐山山上(上醍醐)と山裾(下醍醐)の二つの伽藍からなる醍醐寺は、山の寺としての性格を持ち、国家安泰や祈雨など種々の祈願の場として、また江戸時代初期からは修験道の拠点寺院として発展してきました。

本展では、「山の寺 醍醐寺」「密教修法のセンター」「桃山文化の担い手」の三つの章に加えて、醍醐寺の特徴を紹介するコーナー展示「秘法継承」「密教法具―神秘的造形」「修験の寺」「引き継がれる聖宝の教え―顕密兼学」の精神」「醍醐寺の近代・現代美術」を設け、醍醐寺に伝わる国宝14件、重要文化財47件を含む約90点の宝物を大阪中之島美術館で初めて大規模にご紹介します。秀吉や北政所が愛した桜まつわる寺宝も華やかに花を添えるなど、その歴史と美術を展観する貴重な機会です。

※作品画像提供:記載のないものはすべて奈良国立博物館
※掲載作品はすべて醍醐寺蔵

第2章 密教修法のセンター



重要文化財 《両界曼荼羅図》 鎌倉時代(13世紀) ※前期(6/15~7/21)のみ展示

重要文化財
《舞楽図屏風 依屋宗達筆》
二曲一双 江戸時代(17世紀)
※後期(7/24~8/25)のみ展示



《金天目及び金天目台》
安土桃山時代(16世紀)



第3章 桃山文化の担い手

豊臣秀吉が
愛した醍醐寺!!

豊臣秀吉は応仁の乱で荒廃した醍醐寺の復興を強力にサポート。秀吉が主催した「醍醐の花見」はまさに絢爛豪華。本展では秀吉の肖像画や依屋宗達筆の舞楽図屏風をはじめとした華やかな近世文化の展示も大充実です。



《豊臣秀吉像》 江戸時代(18世紀)



《桜図屏風 山口雪溪筆》
六曲一双 江戸時代(17~18世紀)
※前/後期で展示替えを行います

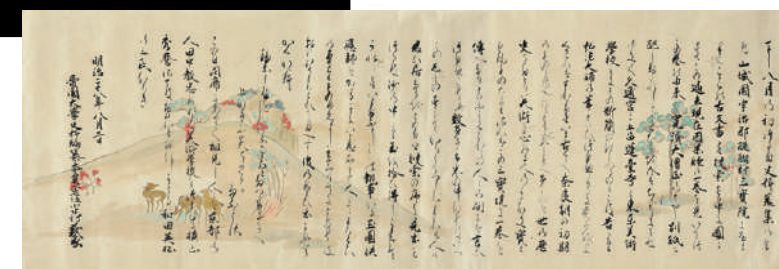


コーナー展示で
ミステリアスな
密教世界を体感!!

5つのトピックに分けて密教の世界をご案内。初めて仏教美術をご覧になる方にも楽しんでいただけます。数々の騒乱を越えて現代に伝わる祈りの空間が大阪中之島美術館に!

コーナー展示
醍醐寺の近代・現代美術

長く所在がわからなかった絵因果経が醍醐寺で発見された経緯の記録書に横山大観による下絵が入った国宝です。



国宝 《絵因果経発見由来記》 小中村義象書、横山大観筆 明治28年(1895) ※前期(6/15~7/21)のみ展示 ※画像提供:株式会社松鶴堂

「国宝 絵因果経発見由来記」
本邦初公開!